

匠の逸品の運用状況

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信/国内/株式

2020年10月16日

- 当ファンドは、10月5日に第13期(2020年4月7日～10月5日)の決算を迎え、分配金の200円(税引前)をお支払いした後の基準価額は10,668円となりました。
- 分配金の200円(同)を含めた第13期の値上がり額は2,289円、上昇率は26.7%となり、同期間のJPX日経インデックス400の上昇率19.2%を7.5%上回りました。

1. 第13期の投資環境

国内株式市場は、新型コロナウイルスに対する警戒感の後退から大幅な上昇となりました。各国政府や中央銀行による積極的な財政、金融政策を好感し、世界的にリスク資産を買い戻す動きが優勢となり、6月上旬にかけて株式市場は戻りを試す展開となりました。また、6月中旬以降は感染拡大第2波への警戒感が高まり、上値の重い展開が続いたものの、安倍首相辞任による影響は限定的で、その後は菅新政権や経済活動正常化への期待などからじり高の展開となりました。

2. 第13期の運用経過

このような投資環境の中、期首に8,579円(1万口当たり)であった基準価額は、期末に10,668円(同)となり、当期分配金を含めた上昇率は26.7%となりました。

コロナ禍において、アウトドア需要が拡大し、販売が好調な新潟本社銘柄のスノーピーク、中堅・中小企業の事業継承型M&Aの需要増加を取り込んでいる日本M&Aセンターなどが基準価額に対しプラスに寄与しました。当期の収益分配につきましては、基準価額水準、配当等収益等を勘案し、1万口当たり200円(税引前)とさせていただきます。

当期の運用につきましては、中期的にROEの向上が見込まれる企業への選別投資を継続しました。高い競争力と固有の成長ドライバーを有し、景気低迷が長期化しても比較的堅調な業績が見込めると判断した優良成長企業を組入上位とした運用を行いました。(次ページ:組入上位銘柄を参照)

当期の主な投資行動は、新潟本社銘柄では、生産性改善施策による業績拡大が期待される亀田製菓やコロナ禍でも販売が好調で株価は割安と判断したコメリなどの組入比率を引き上げました。新潟県関連銘柄では、高収益で成長性も高い先端電子材料分野の事業構成比率が高まっているデンカを新規に組み入れました。JPX日経インデックス400構成銘柄では、海外でタンクレス給湯器の販売が伸長しているリンナイや有効性が高いがん治療薬で新薬のポテンシャルが高まっていると判断した第一三共などを新規に組み入れました。一方、業績拡大が株価に織り込まれたと判断した中外製薬や業績回復には時間を要すると判断した日本水産などを売却しました。

3. 今後の見通しと運用方針

国内株式市場は企業業績の回復と新政権への期待から底堅い展開が予想されます。10月下旬から本格化する2020年度上期決算発表では、新しい生活様式が追い風となっている企業の業績は好調を維持し、コロナ禍が逆風となっていた企業の業績も最悪期を脱する見通しです。今後はマーケットの焦点が徐々に来期業績に移行する中、企業本来の競争力や経営変化への対応力の相違がより顕在化し、同一業種や成長株の中でも、企業ごとの業績やパフォーマンスの格差が鮮明化すると思われます。

当ファンドの運用におきましては、中長期的な観点から企業の競争力や成長性を精査し、来期以降の持続的な成長への回帰が株価に織り込まれていない上昇ポテンシャルの高い優良成長企業に着目し、新規組入れや買増しを進め、パフォーマンスの向上を目指していく方針です。



(期間)2020年4月7日～2020年10月5日

(出所)Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

基準価額に寄与した主な銘柄

プラス寄与銘柄

| 順位 | 銘柄名 |
|----|-----------|
| 1 | スノーピーク |
| 2 | 日本M&Aセンター |
| 3 | ツインバード工業 |

マイナス影響銘柄

| 順位 | 銘柄名 |
|----|----------|
| 1 | KDDI |
| 2 | ライオン |
| 3 | 国際石油開発帝石 |

(期間) 2020年4月7日～2020年10月5日

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
 追加型投信/国内/株式

運用状況

(作成基準日: 2020年10月5日)

■ 設定来の基準価額の推移



■ ファンドの状況

| | |
|--------|-----------------|
| 基準価額 | 10,668 円 |
| 残存元本 | 2,416,526,392 円 |
| 純資産総額 | 2,578,027,787 円 |
| 株式組入比率 | 95.6 % |
| 組入銘柄数 | 87 銘柄 |

■ 最近5期の分配金実績

| 決算日 | 分配金 (円) |
|------------|---------|
| 2018年10月5日 | 200 |
| 2019年4月5日 | 100 |
| 2019年10月7日 | 0 |
| 2020年4月6日 | 0 |
| 2020年10月5日 | 200 |
| 設定来累計 | 1900 |

※分配金は、1万口当たり(税引前)です。

■ 組入上位10業種

| 順位 | 業種名 | 組入比率 |
|----|--------|-------|
| 1 | 電気機器 | 16.8% |
| 2 | 情報・通信業 | 9.5% |
| 3 | その他製品 | 7.1% |
| 4 | 小売業 | 7.0% |
| 5 | 化学 | 6.4% |
| 6 | 機械 | 5.9% |
| 7 | サービス業 | 5.8% |
| 8 | 食料品 | 4.6% |
| 9 | 建設業 | 4.6% |
| 10 | 医薬品 | 3.8% |

■ 組入上位銘柄

JPX日経インデックス400構成銘柄

| 順位 | 銘柄名 | 組入比率 |
|----|-----------|------|
| 1 | HOYA | 3.2% |
| 2 | 任天堂 | 3.1% |
| 3 | ソニー | 2.8% |
| 4 | ダイキン工業 | 2.6% |
| 5 | リンナイ | 2.3% |
| 6 | 東京エレクトロン | 2.1% |
| 7 | TDK | 2.0% |
| 8 | 第一三共 | 2.0% |
| 9 | 日本M&Aセンター | 2.0% |
| 10 | 日本電産 | 1.9% |

新潟本社銘柄

| 順位 | 銘柄名 | 組入比率 |
|----|-----------------|------|
| 1 | スノーピーク | 2.3% |
| 2 | アクシアル リテイリング | 1.8% |
| 3 | 北越工業 | 1.6% |
| 4 | コメリ | 1.5% |
| 5 | アークランドサカモト | 1.4% |
| 6 | 第四北越フィナンシャルグループ | 1.3% |
| 7 | 福田組 | 1.3% |
| 8 | 亀田製菓 | 1.3% |
| 9 | 田辺工業 | 1.1% |
| 10 | セコム上信越 | 1.1% |

※組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品) ファンドの特色

- 主として、わが国の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式のうち、JPX日経インデックス400の構成銘柄(銘柄入替時の予定銘柄を含みます。)および新潟県関連企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
- 投資候補銘柄の選定にあたっては、主に資本の効率的活用を測る指標であるROE(自己資本利益率)の水準、方向性、変化等に着目します。
- 新潟県関連企業の株式の組入比率は、投資信託財産の純資産総額に対して概ね30%程度とします。ただし、流動性や市場情勢の変化等によっては、新潟県関連企業の株式の組入比率は30%から大幅に乖離する場合があります。
- 新潟県関連企業とは、新潟県に本社(本店)を置く企業、および新潟県に主要な工場、店舗、施設等がある企業とします。
- 株式の組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。ただし、市況動向を勘案の上、委託会社が適切と判断した場合、株価指数先物取引等を活用して株式の実質組入比率を大幅に引き下げることがあります。
- 株式以外の資産の投資割合は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(作成: 運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式

2020年10月16日現在

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.694%（税抜1.54%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.011%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

| 商号 | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|-------------------|-----------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
| | | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| （金融商品取引業者） | | | | | |
| 岡三にいがた証券株式会社 | 関東財務局長（金商）第169号 | ○ | | | |

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214**（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）